

学校教育目標 ○自ら学び、考える子 ○心豊かで、思いやりのある子 ○たくましく生きる元気な子



え ど が わ 春日部市立江戸川小中学校
EDOGAWA

学校だより5月号

令和7年5月1日

児童生徒数 195名

江戸川小中学校ホームページ <https://schit.net/kasukabe/edogawa/>

「しつけ（躾）」

校長 鈴木 美江

風薫る5月。鯉のぼりが勢いよく泳ぐ季節となりました。
新たな学校生活がスタートして一カ月、毎朝前期課程の児童は明るい笑顔で元気よく、後期課程の生徒は立哨くださる交通指導員さん等に感謝の気持ちが伝わるように挨拶しながら登校してきます。普段の児童生徒の様子を見ると、体育館までの移動や清掃での黙動の様子、職員室の入り方等、どれをとっても最上級生の9年生の姿は他の学年のお手本です。義務教育学校である本校は、そういった素晴らしいお手本のお兄さん、お姉さんを見てジュニアの子供たちが成長します。



一方、ジュニアクラスの朝の会でも、腰骨を立ててどの学年もまっすぐ先生目を見て話を聞こうとする姿に「しつけ」が行き届いているなあとこの一月の成長を感じました。令和7年度の江戸川小中学校は、順調なスタートを切ることができました。

「しつけ」とは、本当に良い字です。古い漢字で「躾」と書きます。身を美しくすることが「しつけ」です。この「しつけ」という言葉について考えてみました。

洋裁でも和裁でも、仮縫いをする時、細い糸で型を整えます。この糸のことを「しつけ糸」と言います。これがいいかげんだと、型が崩れます。

また、「しつけ糸」に太くて丈夫な糸を使うと出来上がった時、布地に穴が空いてしまって良い製品にならないそうです。細い糸でまんべんなくかけることが大切です。そして、製品が出来上がった時に「しつけ糸」は取ってしまいます。いつまでも製品にへばりついているわけではありません。

学校や家庭での「しつけ」も、この「しつけ糸」と同じです。乳幼児期から今まで、保護者の方があらゆる場面のひとつひとつを丁寧に、気を配って「しつけ糸」をかけてきたわけです。この「しつけ糸」をはずすのは、はずしても型が崩れる心配が無くなった時です。それは、保護者や教員の「しつけ糸」があるうちに、子供自身が自分で本縫いの丈夫な糸を作り出した時です。「しつけ糸」は、子供が自立するまでの保護者や先生の手助けにすぎません。

子供を一本立ちさせるためには、正しい「しつけ糸」をかけた上で、決して「押しつけ」にならないようにすることも大切です。子供が、大人の手を離れて自分の力で、正しく生きていくための下地を作ってやるのが私たち大人の務めです。

今年度、江戸川小中学校では、家庭・地域と学校の共同指導目標「8つの種」を推進してまいります。是非、この「8つの種」を地域やご家庭でもお進めいただき、子供の可能性の花を咲かせるための種まきにご参加くださるようお願いいたします。

【「8つの種」(キーワード)】

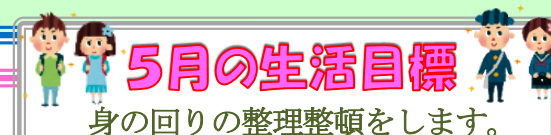
- ①善悪を正す ②挨拶・美しい言葉 ③基本的な生活習慣 ④過保護・甘やかせ過ぎない ⑤ほめて伸ばす ⑥片付け・手伝い・ルールを知らせる ⑦努力すること・我慢すること ⑧思いやりの心

コミュニティースクール事業

第1回学校運営協議会



4月25日(金)に、第1回学校運営協議会を開催しました。今年度の江戸川小中学校の経営方針や地域と連携する学習活動、共同指導目標「8つの種」についてご承認頂きました。また正門前の松の樹の管理の仕方についても熟議しました。今年度もどうぞよろしくお願い致します。



入学式

江戸川小中学校に、元気な14名の1年生が入学してきました。1人1人の呼名では、江戸川っ子らしく、「はい!」と元気な返事をすることができました。また、校長先生の式辞でも姿勢よく静かにお話を聞くことができ、とても立派でした。入学から3週間が立ちますが、毎日教室から元気な声が聞こえてきます。これからの成長がとても楽しみな1年生です。



1年生を迎える会

「1年生を迎える会」を行いました。心のこもった手作りのメダルやアサガオの種が1年生にプレゼントされ、1年生も大喜び。お礼の挨拶もしっかりできました。入退場の時にはエスコートする上級生の優しさも光る、心温まるとてもよい会となりました。



児童生徒集会・結団式

児童生徒集会では体育委員会主催で大運動会のスローガン「つなぐ～勝利のバトンと江戸川の伝統～」が発表されました。その後の結団式では各団に分かれて団長・副団長が発表され、「大運動会」に向けて、GO!GO!GO!を歌いました。みんな汗をにじませながら体育館いっぱいに元気な声を響かせていました。

